

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ武蔵小杉園	種別：認可保育所	
代表者氏名：立川 恵美子	定員（利用人数）：60名(利用者59名)	
所在地：〒211 - 0004 川崎市中原区新丸子東3 - 1135 - 1グランツリー 3階		
TEL：044 - 433 - 7007		
ホームページ：https://gkids.co.jp/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ		
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員： 6名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	主任	施設長
	看護師	保育士
	調理師	管理栄養士
施設・設備の概要	（居室数）保育室5室	
	（設備等）事務室、トイレ等	

## ③理念・基本方針

経営理念	子どもたちの未来のために
保育理念	豊かに生きる力を育てる
保育方針	子どもたちの健全な心身の発達を育む 子どもの思いを受け止め、自発と自立を支え主体的な活動をし 創造力と表現力を培う 保護者と連携をとり個性を尊重し心豊かな子どもを育てる
保育目標	自分の気持ちや挨拶、感謝の気持ちを素直に言える子ども 健康で明るくのびのびと行動できる子ども 何事にも挑戦し最後まであきらめない子ども

## ④施設・事業所の特徴的な取組

駅から徒歩数分の鉄筋コンクリート4階建ての大型ショッピングモールの3階にある保育園です。フロアに並ぶショップとは一線を画したゾーンに構えています。

日々の保育では毎日散歩に出かけ、体を動かしています。季節の行事を取り入れ、夏は夕涼み会、秋は運動会(公立の小学校の体育館を使用)、年度末は生活発表会など、子どもたちの成長を保護者に見てもらっています。また、食育の取り組みも年間を通し年齢ごとにできることを行い、「食」についての興味を持てるようにしています。

施設長は「ブレてならないのは子どもの「自己自立」を目指すというゴールです。「子どもの育ち」の部分へのサポートは変わってはいけない。経験をいっぱいさせてあげて、いっぱい褒めてあげて、いっぱい自信を持たせてあげて、卒園するときに「ここで過ごせてよかった」と思ってもらえるよう、そんな保育を大事にしています」としています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月11日（契約日）～ 令和3年2月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成29年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

1)「チームブック」の取り組みで、計画・状況を全員で共有しています

施設長は子どもを尊重した保育を行うための運営法人の理念・信条(クレド)を理解し、「チームブック」という取り組みをしています。園独自の運営に向け、理念・信条に基づいた園の保育の方向性を職員と話し合い、チーム保育・共に生きることを楽しむといった園が目指すポイントを確認しています。

この取り組みは、指導計画の礎となる「全体的な計画」ともつながり、園運営の一貫性が取れる仕組みになっています。

施設長は、会議、日常会話などで、理念に基づいた保育の実践について園長の言葉でも職員に取り組んで欲しいことを伝えています。

2)限られた環境を工夫した保育活動に広がっています

子どもたちは毎日近隣の公園等に出かけています。大型商業施設内を一般客や店舗に配慮しながら散歩したり、イベント広場の催事に積極的に参加しています。近隣の保育園の子どもたちと協力して、定期的に公園掃除をしています。公共交通機関を利用し遠足に行っています。

保育室内では、おもちゃや素材、絵本類は自分で取り出したり、選べるように配置しており、子どもが自由に好きな遊び、制作ができる環境を整えています。低年齢児には指先を使ったり、視覚聴覚を楽しむ、職員の手作りおもちゃや用具類が豊富に用意されています。

3)子どもが安心できる取り組みが保護者に認められています

事業計画に「子どもの安心安全」「安全管理・健康管理再確認」を実践項目として挙げています。保護者アンケートの「園内は清潔で整理された空間か」には100%の保護者が「はい」としています。

感染症対策としては今年度は特に消毒の徹底のほか、玄関ホールに空気清浄機設置、バギー手すりカバーは使用の度に取り換える、机の座る位置を配慮するなどしています。また、感染症流行期の情報提供は保護者の意向を速やかに取り入れ、園内掲示の更新を毎日1回から2回に変更し、より丁寧な対応に改善しています。

##### ◇改善を求められる点

1)保護者からの苦情・要望のデータ化

連絡用アプリケーション、手紙、口頭などさまざまな方法で出された保護者からの苦情・要望は、これまでのデータを専用のファイル等で蓄積・整理することで今後の解決に活かしていくことが期待されます。

2)ヒヤリハット書式の見直し改善

子どもの安全対策の一環としてのヒヤリハット事例に関しては職員の気づきを促し、数を出せるよう書式の見直し改善を検討しています。今後の取り組みが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年は新型コロナ感染防止の影響もあり第三者評価の受審においては、マニュアルの見直しや保育について等職員間で検討、共有し自園で目指している保育はどういうものかをもう一度再確認できたと感じています。

評価を受ける中で地域の福祉向上や、利用者からの要望等についても出来る限りデータ化をしながら、より一層職員と連携し取り組んで行きたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり